

鹿児島大学の研究施設を見学!

協力隊の山田周さんが企画するもつと長島プロジェクト「鹿児島大学水産学部東町ステーション見学」が11月26日に行われ、町内の小学生とその保護者19人が参加しました。

参加者は、町開発総合センターの会議室で事前学習をした後、ステーションに移動。鹿児島大学水産学部の小谷和也教授と技術主任の尾上敏幸さんの案内で、普段あまり目にする事が出来ない研



研究で使われる巨大な水槽



操舵室のさまざまな機器を見学

研究資料の説明



船上で調査を体験(係留中のため救命胴衣は着用していません)

究機材や深さ4層の巨大水槽に驚いたり、調査船「あづま」に乗り込み実際の調査を体験したりしました。参加者は鹿児島大学の研究についての説明に、興味深く耳を傾けていました。

参加者からは「どんな施設か気になっていたので見学できてよかった」「大学の先生の話も興

味深く面白かった」などの感想が寄せられました。

山田さんは「長島町にある大学の研究施設を皆さんと見学できてよかった。このような貴重な体験をさせてくれた大学にも感謝したい」と話しました。



貴重な体験に充実した参加者ら

最後の最後まで活動に励みます!

12月末で協力隊の任期を終える江副佑輔さんに11月の活動報告を聞きました。

11月11日から19日にかけて、鹿児島県の観光に関する課題に対して、デジタル技術を活用して解決方法を考え出す「鹿児島観光ハッカソン」に参加しました。テーマ地となった湧水町の「宿泊施設不足を解消するための方策」にチームで挑戦。準優勝という

結果を残しました。

15日には、川床中学校の総合学習で東町漁協の持続可能な開発目標(SDGs)の取り組みをつなぎ、教職員や漁協職員と一緒に、生徒たちへ地元企業の活動を伝えるサポートをしました。

8月から準備に奔走した北薩地区の地域おこし協力隊が集う交流会「北薩地区地域別交流会」を22日に町内で実施。運営・企画に動き、薩摩

川内市やさつま町、出水市、阿久根市の協力隊と、今後連携できる仕組みの一助となりました。

27日には、長島町生涯学習フェスタで、令和4年度生涯学習短期講座の「インスタ映え写真講座」で講師を務めた成果発表を行いました。

江副さんは「広報紙のデザインが主なミッションですが、協力隊にしかできないことを任期の最後の最後まで、町のために励みます」と話しました。

軽トラ市で鳥獣被害の現状を発信!

協力隊の長谷川一総さんが、11月23日に行われた「第6回ふれあい・ながしま軽トラ市」で長島町の鳥獣被害の現状をパネル展示やクイズなどで伝えました。

鳥獣クイズでは、親子で楽しそうに学んでいる様子が見られ、会場で振る舞われた野生鳥獣の肉(ジビエ)を使用した「しし汁」は「独特の臭いがなくておいしい」と好評でした。

長谷川さんは「第一にジビエはおいしいと知ってもらうことで、鳥獣被害もより身近に感じてもらえれば」と語りました。

会場で行った鳥獣クイズの内容

- Q1:長島町で2020年に捕獲されたイノシシは何頭か。
 ①:約80頭 ②:約600頭 ③:約850頭 ④:約1,200頭
- Q2:長島町でイノシシ(大人)を一頭捕獲するともらえるお金はいくらか。
 ①:3,000円 ②:7,000円 ③:10,000円 ④:13,000円
- Q3:長島町で捕獲されたイノシシ。その後はどうするのが一番多いか。
 ①:猟師がさばいて食べる ②:解体施設に持ち込まれ食用の肉になる ③:ほかの人にあげる ④:食べずに埋められる
- ※答えはページ下



鳥獣クイズを出題する長谷川さん



「鹿児島観光ハッカソン」の発表
 川床中学校の総合学習に協力



「北薩地区地域別交流会」の様子



長島町生涯学習フェスタで登壇